

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 239 号	氏名	原 肇秀
学位審査委員	主 査 高村 昇 副 査 江口 勝美 副 査 近藤 宇史		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、全身性強皮症における自己免疫現象を腫瘍抑制遺伝子である p53 に対する自己抗体という観点から解析しようとするものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 全身性強皮症患者の各病型に加え、コントロール群として健常人のほか、自己免疫疾患である全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎患者についても検討を行っており、更に臨床症状との相関について種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、抗 p53 抗体の測定により全身性強皮症患者の臨床的な重症度と予後を予測しうることが明らかとなり、同症における病型分類や治療方法の選択に寄与するのみならず、その病態の解明や自己免疫研究への進展が大いに期待される意義深い研究である。</p> <p>以上のように本論文は全身性強皮症における自己免疫研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			